

第3章 点検・評価について

1 第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン

(1)「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の策定

北九州市では、教育基本法に基づき、地方公共団体の教育振興基本計画である教育プラン（第1期計画期間：平成21（2009）年度～平成30（2018）年度、平成26（2014）年2月中間改訂）を策定し、子どもの教育に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組を総合的に推進してきた。

その結果、学力や体力の向上、文化芸術に触れる取組の充実、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材の配置・充実によるきめ細かな対応、スクールヘルパー等の市民の教育参画の推進、経済界との連携による学校支援事業などの地域との連携の充実など、様々な成果や前進があった。

第1期教育プランは平成30年度をもって計画期間が終了し、令和元（2019）年5月に北九州市総合教育会議において、新たな「北九州市教育大綱」が策定されたことから、教育を取り巻く社会状況等の変化や、これまでの成果・課題に対応するため、「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」（以下「第2期教育プラン」という。）を令和元（2019）年8月に策定した。

第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン

令和元（2019）年8月
北九州市教育委員会

(2)第2期教育プランの見直しの視点

① SDGsの視点

本市は、平成30（2018）年6月に『SDGs未来都市』に選定され、全市を挙げてSDGsの推進に取り組んでいる。また、令和元（2019）年5月に新たな「北九州市教育大綱」が策定され、その基本方針・副題として「SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成」が盛り込まれている。

このことから、第2期教育プランでは、教育活動全体をSDGsに示される17の目標の視点で整理するとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえた学校教育を推進していくこととしている。

② 新たな時代を切り拓く力を育む視点

人口減少・高齢化、グローバル化、AI等の技術革新など、私たちを取り巻く環境が急速に変化していることから、グローバル化に対応するための「英語教育の充実」、AI等の技術革新の進展に対応する「未来を見据えた教育の情報化」等を新たに盛り込んだ。

③ 働き方改革の視点

教職員のワーク・ライフ・バランス等の充実を図ることが、教職員の健康保持や一人一人の児童生徒に向き合う環境づくりにもつながることから、施策の柱に「働きがいのある学校づくり」を盛り込んでいる。

(3)第2期教育プランの体系

■ビジョン《vision》～本市学校教育の目標～

①目指す子どもの姿

地方創生には郷土への誇りと愛着が不可欠であり、予測困難な時代に、新たな価値を創り出し、自立し思いやりのある社会をつくり出していく能力や態度を育むことが重要であることから、北九州市の学校教育が目指す子どもの姿を次のとおり定める。

自立し、思いやりの心をもつ子ども

新たな価値創造に挑戦する子ども

本市に誇りをもつ子ども

②目標達成に向けた取組方針

第2期教育プランを確実に推進するため、目標達成に向けた取組方針を次のとおり定める。

学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組を進める。

■5つのミッション《mission》と12のアクション《action》

第2期教育プランでは、計画期間の5年間で果たすべき5つの『ミッション(使命)』を掲げている。また、各ミッションを達成するために必要な12の『アクション(施策)』を設定し、重点的な取組やその方向性を示している。

ミッション(使命)	アクション(施策)
mission1 時代を切り拓く力の育成	1 確かな学力の育成
	2 健やかな体の育成
	3 豊かな心の育成
	4 特別支援教育の推進
mission2 働きがいのある学校づくり	5 大量退職・採用時代における教員の資質向上
	6 学校における業務改善の推進
mission3 安心な学びの場づくり	7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応
	8 児童生徒等の安全の確保
mission4 市民総ぐるみでの支援	9 家庭・地域・学校の連携
	10 社会的・経済的な課題への対応
mission5 未来を見据えた環境整備	11 教育環境の整備
	12 学校施設の整備

2 点検・評価についての基本的な考え方

(1)実施にかかる基本的な考え方

- ・地教行法第26条第1項では、点検・評価は、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理及び執行の状況について行うこととされている。
- ・本市教育委員会では、第2期教育プランに掲載された施策を対象として、策定時に設定した指標などに基づいて有効性などの視点から点検・評価し、今後の施策や事務事業の方向性の検討に活用する。
- ・また、同法同条第2項では、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、外部の学識経験者を選任し、評価の内容などについて意見を聴くこととする。

(2)点検・評価の方法

①実施単位

第2期教育プランを構成する12施策ごと

②指標

第2期教育プランを構成する12施策ごとに重点指標及び参考指標を設定

- ・重点指標:各施策の進捗を評価するために必要かつ適切な指標
- ・参考指標:重点指標を補足するために必要な指標

③視点とまとめ方

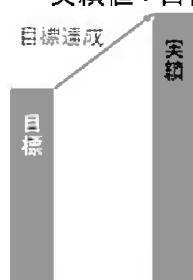
上記の12施策ごとの評価は、重点指標の評価と参考指標の達成状況を踏まえ評価する。

- ・重点指標は達成率を踏まえ、4段階評価を行う。
 - a 大変順調(達成率100%以上) ※16ページ以降の達成率欄に「目標達成」と表記
 - b 順 調(同90%以上)
 - c やや遅れ(同70%以上)
 - d 遅 れ(同70%未満)
- ・施策ごとの全体評価については、重点指標と同様に A～D の4段階評価を行う。
 - 重点指標が3つの場合、a～d の中で最も多い評価を施策の評価とする
 - 重点指標が2つの場合、各指標の達成率の平均値で評価する

(参考)達成率の算出方法

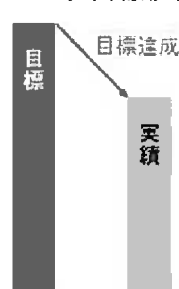
I 目標値以上を目指す指標

… 実績値÷目標値×100



II 目標値以下を目指す指標【減少目標】

… (「目標値」+「目標値との差」)÷「目標値」×100



※減少目標で実績と目標の差が目標を上回り、達成率がマイナスになる場合は「0%未満」と表記

④手順

- ・施策を所管する部署の自己評価
- ・学識経験者の意見聴取
- ・教育委員会会議での評価の決定
- ・議会への提出、公表

⑤市長部局の所管する事務事業の取扱い

第2期教育プランには、市長部局所管の事務事業が含まれているが、点検・評価の対象としては、教育委員会所管の事務事業及び補助執行分とする。

第4章 令和5年度施策の点検・評価

施策体系と評価一覧

ビジョン (vision)		ミッション (mission)		評価		ミッションに基づいた重点的な取組(施策)
本市学校教育の目標		本市が一丸となって取り組まなければならないミッション		R4年度	R5年度	
<p>【目指す子どもの姿】◎自立し思いやりの心をもつ子ども◎新たな価値創造に挑戦する子ども</p> <p>◎本市に誇りをもつ子ども(シビックプライド)</p>	<p>【目標達成に向けた取組方針】学校教職員と教育委員会は互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組を進める。</p>	《mission1》時代を切り拓く力の育成 新学習指導要領に対応し、学校マネジメントの充実を図るとともに、児童生徒が本市に誇りを持ち、新たな時代を切り拓く力を育成する。	B	B	1 確かな学力の育成	
			C	A	2 健やかな体の育成	
			A	B	3 豊かな心の育成	
			C	D	4 特別支援教育の推進	
		《mission2》働きがいのある学校づくり 大量退職・採用時代に対応し、業務改善を一層推進するとともに、教員の確保と育成を進める。	B	B	5 大量退職・採用時代における教員の資質向上	
			A	D	6 学校における業務改善の推進	
		《mission3》安心な学びの場づくり 早期化、複雑化する生徒指導上の課題や子どもの安全に対応し、支援体制を構築するとともに、防災・減災教育を進める。	C	C	7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応	
			C	D	8 児童生徒等の安全の確保	
		《mission4》市民総ぐるみでの支援 社会的・経済的な課題に対応し、早期からのセーフティネットを構築し、市民総ぐるみで子どもたちを支援する。	B	B	9 家庭・地域・学校の連携	
			B	A	10 社会的・経済的な課題への対応	
		《mission5》未来を見据えた環境整備 学校施設老朽化に計画的に対応しつつ、ICTなど先端的な教育環境を整備し、Society5.0時代における教育とデジタルの融合に挑戦する。	B	B	11 教育環境の整備	
			C	—	12 学校施設の整備	

アクション (action)

主な取組	各施策を推進するための個別計画・方針等
(1)学校マネジメントの充実 (2)学力の向上 (3)学校における読書活動の推進 (4)英語教育の推進 (5)本市の特色を活かした教育活動の推進	北九州市子ども読書プラン (第4次計画)
(1)体力の向上 (2)学校における食育の推進 (3)健康の保持 (4)スポーツに親しむ機会の充実	北九州市学力・体力向上アクションプラン 第2ステージ(延長版)
(1)道徳教育・文化芸術に触れる機会の充実 (2)人権教育の推進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市スポーツ振興計画
(1)相談支援体制の整備 (2)特別支援教育を推進する体制の充実 (3)就労支援 (4)理解促進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市文化振興計画
(1)人材の確保 (2)人材の育成・資質の向上 (3)女性活躍推進	(改訂版)北九州市特別支援教育推進プラン
(1)業務改善の推進 (2)適正な部活動の推進	北九州市教育委員会人材育成基本方針
(1)長期欠席(不登校)への対策 (2)いじめ等問題行動への対応 (3)専門人材の配置・活用	《参考》他部局の分野別計画 第4次北九州市男女共同参画基本計画
(1)防災・減災教育の推進 (2)重篤な事故の防止 (3)食物アレルギー事故及び感染症等の防止	学校における業務改善プログラム(第3版)
(1)家庭との連携 (2)地域との連携	北九州市いじめ防止基本方針
(1)子どもの貧困など経済的な課題の対応 (2)社会的な課題への対応 (3)早期からの生活習慣の確立と小学校教育への円滑な接続	《参考》各学校で策定 学校安全計画
(1)教育の情報化推進 (2)学校規模の適正化	《参考》他部局の分野別計画 北九州市生涯学習推進計画
(1)安全で快適な学校施設の整備	《参考》他部局の分野別計画 元気発進!子どもプラン(第3次計画)
	北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方
	北九州市学校施設長寿命化計画

教職員支援プロジェクト「一人にさせない」チーム学校体制づくり

施策1 確かな学力の育成

- a 大変順調(達成率100%以上→「目標達成」)
- b 順調 (同90%以上)
- c やや遅れ(同70%以上)
- d 遅れ (同70%未満)

施策の評価	令和4年度	令和5年度
	B	B

指標の達成率		重点指標								
R4年度	R5年度	項目	H30(2018) 基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		
b	b	全国学力・学習状況調査結果平均正答率全国比	小6	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				実績	98%	98.9%	調査中止	98%	97%	96%
			達成率	—	98.9%	—	98%	97.0%	96.0%	
			中3	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績	97%	93.3%		調査中止	97%	94%	97%			
p.18 参照			達成率	—	93.3%	—	97%	94.0%	97.0%	
a	a	【減少目標】 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)読書を全くしない」と回答した児童生徒の割合	小6	目標	—	19.0%	18.0%	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以下
				実績	22.7%	20.7%	調査中止	15.3%	21.2%	23.8%
				達成率	—	91.1%	—	目標達成	目標達成	目標達成
				達成率	—	91.1%	—	目標達成	目標達成	目標達成
			中3	目標	—	36.0%	35.0%	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以下
				実績	38.8%	39.6%	調査中止	28.7%	28.5%	30.1%
				達成率	—	90.0%	—	目標達成	目標達成	目標達成
				達成率	—	90.0%	—	目標達成	目標達成	目標達成
p.19 参照	b	中学校卒業段階で英検3級(CEFRA1)程度以上の生徒の割合	小6	目標	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
				実績	47.5%	48.6%	調査中止	46.8%	46.9%	48.3%
				達成率	—	97.2%	—	93.6%	93.8%	96.6%
				達成率	—	97.2%	—	93.6%	93.8%	96.6%

参考指標								
項目	H30(2018) 基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		
「授業で学級やグループで話し合う活動が授業で行われていた」と回答した児童生徒の割合	小5	目標	85.2%	86.4%	87.6%	88.8%	90.0%	
		実績	83.9%	86.6%	未調査	83.0%	80.8%	84.0%
	達成率	—	目標達成	—	94.7%	90.9%	93.3%	
	中2	目標	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%	
		実績	80.8%	86.4%	未調査	61.3%	79.4%	81.9%
	達成率	—	目標達成	—	71.3%	90.2%	91.0%	
「授業の最後に学習したことを振り返る活動が行われていた」と回答した児童生徒の割合	小5	目標	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%	
		実績	79.7%	81.8%	76.6%	78.6%	78.6%	79.3%
	達成率	—	99.8%	91.2%	91.4%	89.3%	88.1%	
	中2	目標	76.9%	80.2%	83.5%	86.8%	90.0%	
		実績	73.6%	78.5%	76.9%	71.6%	83.5%	82.7%
	達成率	—	目標達成	95.9%	85.7%	96.1%	91.8%	
授業以外(月～金曜日)の学習時間が1時間以上の児童生徒の割合	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	58.1%	59.0%	調査中止	58.0%	53.2%	48.2%
		達成率	—	89.3%	—	92.8%	89.6%	84.4%
	中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	59.3%	60.4%	調査中止	71.4%	61.4%	57.3%
		達成率	—	86.5%	—	94.1%	88.3%	87.1%
「授業で課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	74.6%	75.9%	調査中止	76.9%	75.0%	76.4%
		達成率	—	97.7%	—	98.3%	97.0%	97.0%
	中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	68.0%	74.3%	調査中止	79.6%	75.7%	74.4%
		達成率	—	99.3%	—	98.3%	95.6%	93.9%
英検準1級(CEFRB2)以上等を取得している教員の割合(中学校英語担当教員)	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上		
	実績	27.9%	39.6%	調査中止	37.0%	37.2%	42.6%	
	達成率	—	目標達成	—	90.7%	89.6%	95.1%	

実施内容と成果

■本市独自の調査である「北九州市学力・学習状況調査」では、児童生徒一人一人の学力をよりきめ細かに把握・分析し、指導の充実・改善を図った。

■児童生徒の学力の定着では、「子どもひまわり学習塾」を小学校91校、中学校62校で実施した。

■読書活動の推進については、令和5年度も全中学校区及び特別支援学校に学校図書館職員を配置した。子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」が、「北九州市子ども読書プラン」に基づく施策を推進した。



▲子どもひまわり学習塾の様子

■外国語教育リーディングスクールの光貞小学校、ひびきの小学校、企救丘小学校、浅川中学校、洞北中学校、志徳中学校で、小中9年間を見通した小学校段階からの「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を重視した外国語教育推進のため、新たな指導方法の開発・実践や評価方法等の研究を行った。

■SDGs推進校を指定し、特色ある取組及び実践研究を行うとともに、その成果を取りまとめて全市に発信し、SDGsの視点を踏まえた教育を拡大・充実した。

また、学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシビックプライドの醸成を図るため、SDGsの視点を踏まえた地域教材を活用し、教科等の学習を行った。



▲SDGsの視点を踏まえた地域教材

全体評価と課題、今後の方向性等

■全国学力・学習状況調査については、小学校国語、中学校国語、中学校数学の平均正答率が微増した。引き続き、主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用を含めた授業改善や、補充学習の在り方について、研修会や学校訪問において周知・徹底を図っていく。また、過去の調査結果も含めて、誤答の傾向や、各学校のつまづき等について分析を進める。

■令和5年度は「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、全く読書しない」と回答した児童生徒の割合(不読率)が、昨年度より増加しているものの、全国平均を下回っている(全国平均より良い結果である)。

これは、教室にミニ図書館を設置したり、移動図書館(ローテーション学級文庫)を行ったり、市内一斉読書の日の取組を実施したりするなど、各学校が創意工夫を重ね、子どもたちの読書習慣の定着を目指した地道な取組を行うことによって、一定の成果が得られたものと分析する。

■読書活動の推進については、「北九州市子ども読書プラン」に基づき、市立図書館・学校との連携強化を図るとともに、全中学校区及び特別支援学校に配置された学校図書館職員を活用し、学校図書館のさらなる充実に努め、学校における読書活動を推進する取組を着実に進めていく。

■外国語教育の推進については、外国語教育リーディングスクールの7校(令和6年度新規:志井小学校)での実践研究等を進め、学習指導要領に沿って、言語活動を通して児童生徒が外国語でコミュニケーションを図る資質・能力(小学校においてはその素地・基礎)を育成する。

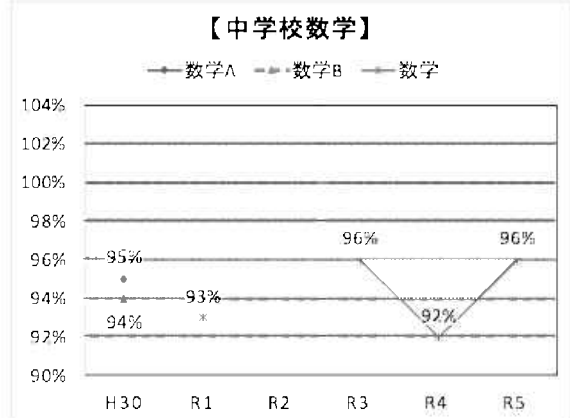
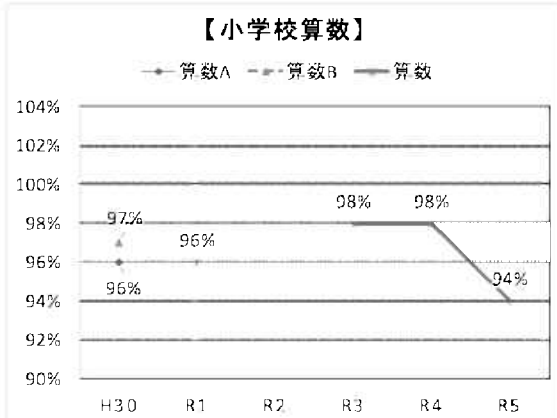
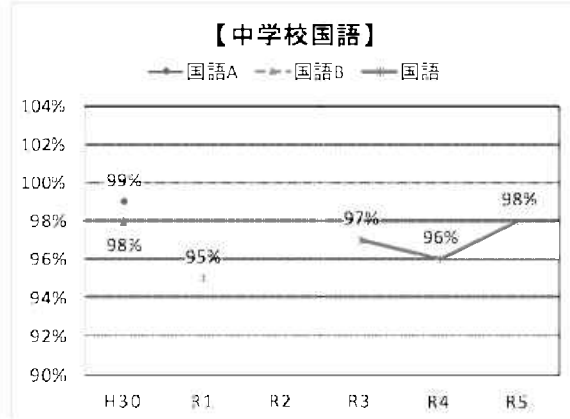
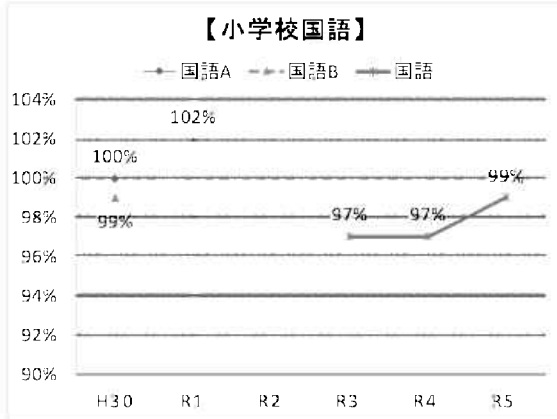
補足資料(経年変化等)

●全国学力・学習状況調査結果(平均正答率の年度別全国比)

《出典:全国学力・学習状況調査》

○平均正答率

小学校				中学校					
		国語	算数	平均		国語	数学	平均	
R5 年度	本市	66%	59%	63%	R5 年度	本市	69%	49%	59%
	全国	67%	63%	65%		全国	70%	51%	61%
	対全国比	99%	94%	96%		対全国比	98%	96%	97%

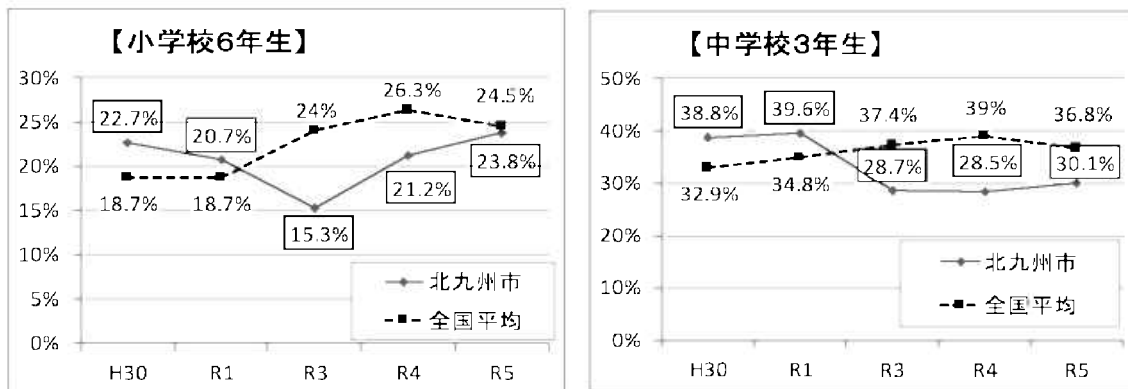


※ 令和元年度より、国語及び算数数学のA・B問題は統一されている。

※ 正答率と対全国比は詳細な数値で計算をしているが、表記は小数第一位を四捨五入し整数値にしている。

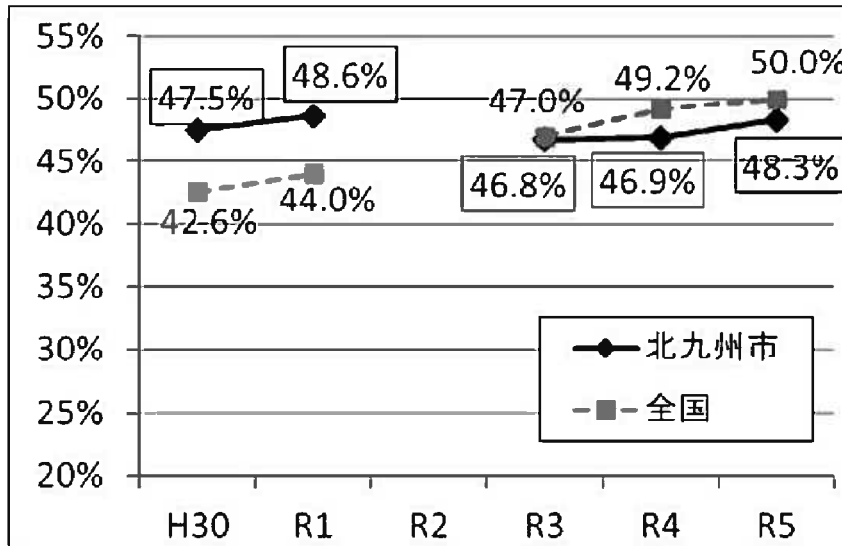
※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査が中止となったため、実績なし。

●「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、全く読書をしない」と回答した児童生徒の割合《出典：全国学力・学習状況調査》



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査が中止となったため、実績なし。

●中学校卒業段階で英検3級(CEFRA1)程度以上の生徒の割合
《出典：文部科学省 英語教育実施状況調査》



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査が中止となったため、実績なし。